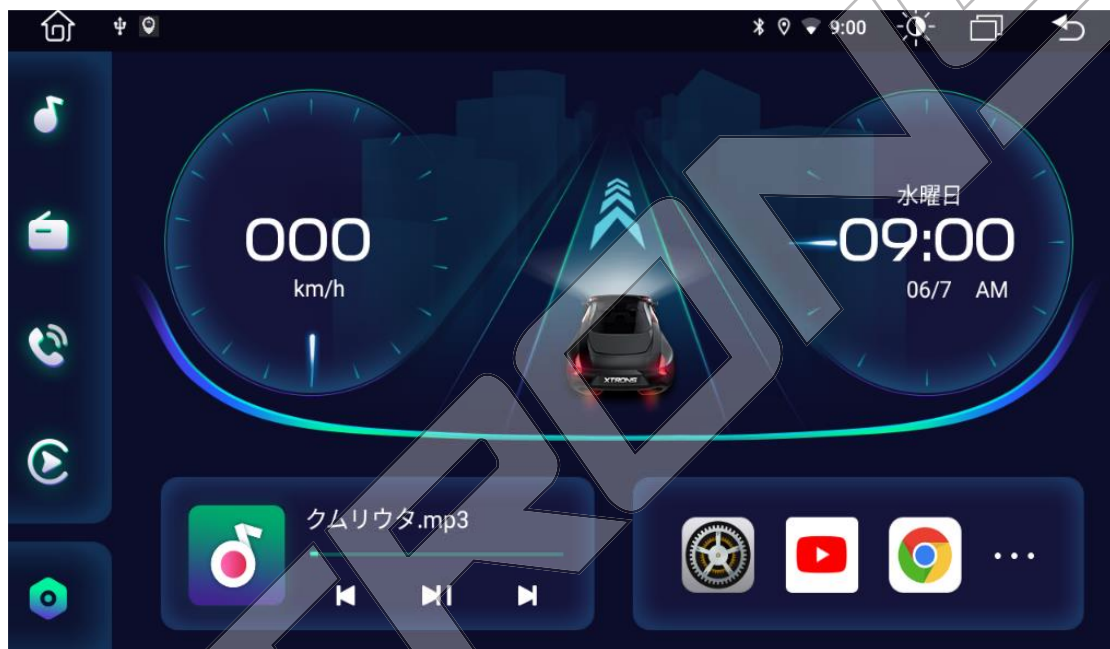


XTRONS





TEX726L 取扱説明書

このたびは XTRONS 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、本書をよくお読みになり、記載された内容に従って正しくお使い
ください。お読みになった後も必要なときに、すぐご覧になれるよう大切に
保管してください。



安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。


■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。


 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 注意(警告を含む)しなければならない内容です。	 必ず行っていただく強制の内容です。
 禁止(やってはいけないこと)の内容です。	

接続・取り付け

 **警告**


 **禁止**


本機は、DC12V \ominus アース車専用です24V車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。


前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない
交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない
電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

 **警告**

 **禁止**

アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない
視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。

 **強制**

取付・配線、取付場所の変更は、**安全のため必ず取付専門店で依頼する**
取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付・配線は、ケガの原因となります。

作業前はバッテリーの \ominus 端子を外す
 \oplus と \ominus 経路のショートにより、感電やケガの原因となります。

作業前に、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。

警告



強制

必ず付属の部品を使用し、確実に固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

説明書に従って接続・取り付けする

説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する

ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作の妨げとならないように固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

注意



禁止

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない

内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。

アンテナやモニターを不安定なところに取り付けない

落下などの原因となることがあります。

通風口や放熱板をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

コード類は絶対に途中で切断しない

コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が動かなくなり、火災の原因となることがあります。

注意



禁止

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない

火災や感電の原因となることがあります。

製品同梱の電源リード線は、バッテリーに直接接続しない

火災や感電の原因となることがあります。電流が不足して、バッテリーから直接電源を取る場合は、専用の配線キットを使用してください。

分岐配線をしなない

ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となることがあります。

雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない

発煙や発火、故障の原因となることがあります。

コードが金属部に触れないように配線する

金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所に取り付ける歩行者などに接触して、思わぬ事故の原因となることがあります。

アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水の浸入に注意する

雨水が車内に浸入すると、火災や感電の原因となることがあります。

使用方法

警告



禁止

運転者は走行中に操作をしない

前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

運転者は運転中に画像を注視しない前方不注意となり交通事故の原因となります。

速度を上げての後退運転や画面だけを見ながらの後退運転はしない

バックカメラの映像は広角レンズを使用しています。実際の距離と感覚が異なるので、人や物にぶつかる恐れがあります。また、必ず目視による安全確認を行いながら後退してください。カメラの死角になっている人や物にぶつかる恐れがあり、思わぬ事故の原因となります。



強制

実際の交通規制に従って走行する
ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると、実際の交通規制に反する場合があります、交通事故の原因となります。

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず停車してパーキングブレーキをかける

テレビやビデオは、安全のため走行中は表示されません。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア)のヒューズを使用する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。



注意



禁止

本機は車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やケガの原因となることがあります。

アンプの放熱部に手を触れない
やけどの原因となることがあります。



強制

音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。



注意



指のケガに
注意

モニターの収納や角度調整時に手や指を挟まれないように注意する
ケガの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ



警告



強制

万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

目次

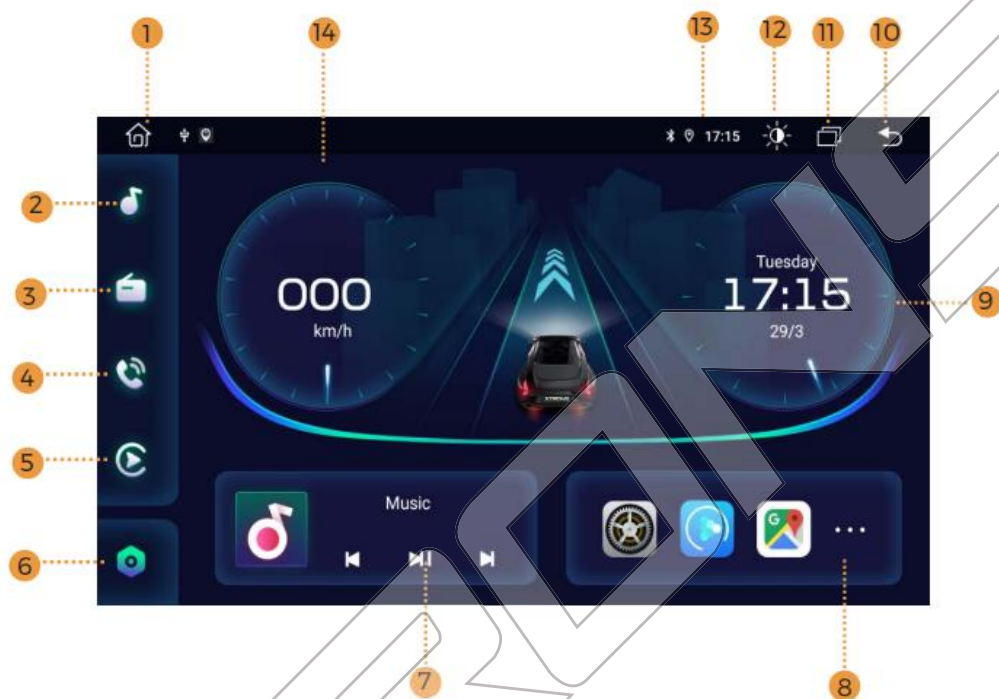
ホーム画面	2
配線図	4
よく使う機能の設定について	5
ラジオ	8
USB / SD	9
AUX 入力	10
Bluetooth	10
ブルートゥー音楽	13
Carplay/Android Auto 接続	13
ミラーリング	16
ナビゲーション	18
インターネット接続	19
OBD2 (オプション品)	20
DVR (オプション品)	20
TPMS (オプション品)	20
設定	21
故障かな?と思ったら	29
連絡先	31

使用前の注意：

本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがありま

す。詳しくは販売店の商品ページをご参考ください。

ホーム画面



- ① ホーム
- ② 音楽 (USB/SD)
- ③ ラジオ
- ④ Bluetooth通話/音楽
- ⑤ Carplay/Android Auto
- ⑥ 設定
- ⑦ 音楽 (USB/SD)
- ⑧ 最近利用したアプリ

⑨ 日付/時刻

⑩ 戻る

⑪ 最近利用したアプリ

⑫ 明るさ

⑬ 時間表示

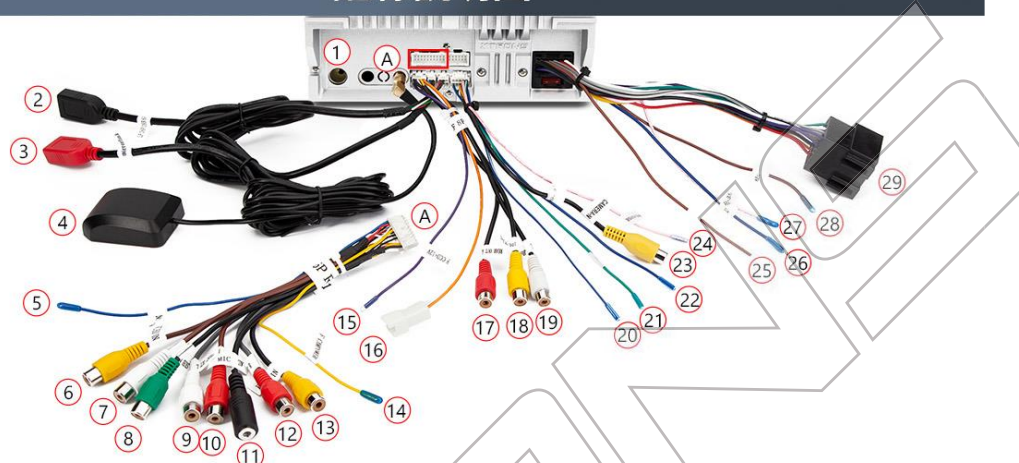
⑭ スピード表示



配線図

実際の製品の配線は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。詳しくは販売店の商品ページをご参考ください。

配線説明図



- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. ラジオアンテナポート 2. USBポート 3. Carplay用USBポート(mirrorlink表記) 4. GPSアンテナ 5. アンプコントロール 6. ビデオ入力 7. 音声入力(左) 8. サブウーファー出力 9. 音声出力(前左) 10. 音声入力(右) 11. 外付マイク用端子 12. 音声出力(前右) 13. フロントカメラ映像入力 14. フロントカメラ電源(無効) 15. フロントカメラ電源12V | <ol style="list-style-type: none"> 16. (無効端子) 17. 音声出力(後右) 18. Audio Coaxial出力 19. 音声出力(後左) 20. WiFiアンテナ 21. ブレーキ信号用配線 22. Bluetoothアンテナ 23. バックカメラ映像入力 24. リバース信号用配線(無効) 25. ステアリングコントロールKEY1(5V) 26. オートアンテナ 27. リバース信号用配線 28. ステアリングコントロールKEY2(5V) 29. ISO電源ケーブル |
|---|---|

ISO電源ケーブル

黄：バッテリー電源プラス極に繋ぐ
 黒：アース・バッテリー電源マイナス極に繋ぐ
 赤：ACC・アクセサリ電源に繋ぐ
 オレンジ：イルミネーション
 紫：後右スピーカー+
 紫・黒：後右スピーカー-

灰色：前右スピーカー+
 灰色・黒：前右スピーカー-
 白：前左スピーカー+
 白・黒：前左スピーカー-
 緑：後左スピーカー+
 緑・黒：後左スピーカー-

配線接続時のご注意：

*本ナビには、2本リバーズ配線があり、バックカメラが接続時、**27番目のピンクのリバーズ配線（back配線）**をご利用ください。

*カメラケーブル中の（24番目ピンクリバーズ配線）は、無効で、接続しないでください。絶縁処理すればよろしいです。

よく使う機能の設定について

① 画面の英語表示を日本語に変更する

設定方法：settings → system → languages&input → languages → Add Language の順にタップします。「Add Language」から日本語を追加したら、1番上にドラッグしてください。日本語が1番上になると同時に表示が日本語に変わります。

② ラジオの設定

ホーム画面の「設定」→カーインフォテイメント→端末情報→右側の設定マーク→パスワード：8878を入力→Radio→Zone項目を「5」に選定して、Japanの受信エリアに設定後、画面右側の「Save」をタッチして、「Reboot」をタッチしてください。商品は自動的に再起動します。再起動後、ラジオの周波数が設定完了です。

③ 走行中にSD/USB動画/Youtubeなどネット動画を見る設定

手順：設定→カーインフォティメント→ビデオオプション→【**運転中ビデオを見るのが禁止されます**】を「オフ」に選定
設定完了後、走行中に映像の再生が対応可能です。

④ リセット/初期化の設定方法：

リセット：

TE114: DVD スロットの下側に RST 穴があり、それを細長いもので軽く押してください。その後、機体を再起動してください。

初期化：【設定】→【カーインフォティメント】→【端末情報】→右側の設定マークを押して→パスワード：8878 を入力→【Erase all content】→【OK】の順にタッチしてください。そうすると、商品が初期化され、自動的に再起動されます。

⑤ 日付と時間の設定方法：

「設定」－「システム」－「日付と時刻」－「日付と時刻の自動設定」項目の「GPS から提供された時刻を使用する」を選びください。
それから、「タイムゾーンの選択」を「GMT+9:00 日本標準時」に選定して下さい。

＊日付と時刻画面に「タイムゾーンの自動設定」の項目（ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する）をオフにしてください。

オフにすると、タイムゾーンの選択が出来ます。

それから、「タイムゾーンの選択」を「GMT+9:00 日本標準時」に選定して下さい。

添付動画をご参照ください。

<https://youtu.be/Vnwjy5AptJw>

⑥ バックカメラの映像は、左右転倒時、正常に戻る設定方法：

【設定】→【カーインフォテイメント】→「ビデオオプション」→「鏡像機能」を OFF に選定してください。

選定完了後、バックカメラの映像は、正常に戻ります。


⑦ 弊社 CAM005Y/CAM009Y カメラをご利用時、配線が正しく接続しても、バック映像が映らない場合、調整する方法：

【設定】→【カーインフォテイメント】→「ビデオオプション」→「カメラタイプ」→「0000」を入力、「CVBS」に選定してください。

⑧ 壁紙の変更：

ホーム画面（アイコン以外のところ）を長く押して、壁紙の設定アイコンがホーム画面の下側に出て、それを押して、壁紙の選択ができます。

⑨ UI 切替の設定方法：

ホーム画面の  「Topic switch」アイコンをタッチ → お気に入りの UI 設計を選び、画面上側のホームページを設定するをタッチしてください。そうすると、テーマが切り替えできます。

⑩ ナビ起動時間<2秒の設定方法

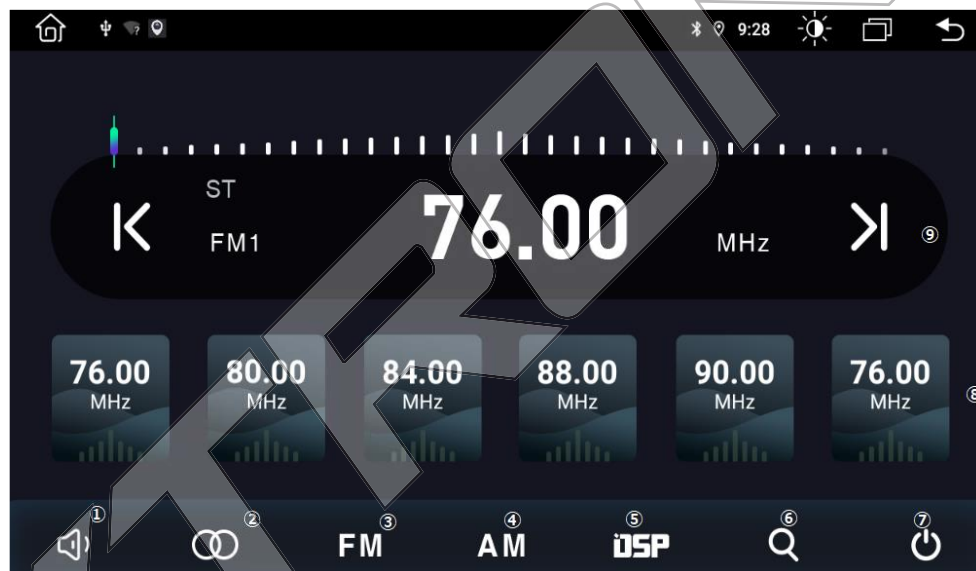
設定→カーインフォテイメント→一般 →スリープモードをオン

ラジオ

*ラジオが聞けるように、まず、ラジオの受信地域を設定してください。

設定方法：

ホーム画面の「設定」→カーインフォティメント→端末情報→右側の設定マーク→パスワード：8878を入力→Radio→Zone項目を「5」に選定して、Japanの受信エリアに設定後、画面右側の「Save」をタッチして、「Reboot」をタッチしてください。商品は自動的に再起動します。再起動後、ラジオの周波数が設定完了です。



① 音量調整

② モノラルFMとステレオFMの切り替え「ST」記号は、ラジオがステレオ受信モードになっていることを表示します。

③ FM バンド (FM1, FM2 or FM3)

④ AM バンド (AM1 or AM2)

⑤ DSP音声効果調整

⑥ 周波数自動サーチ

⑦ ラジオOFF

⑧放送局リスト

保存したい枠を2秒以上タッチすると、受信している放送局が選んだ枠に記憶されます。

⑨手動周波数サーチ

映像再生のご注意：(USB/SD/AUX 入力/ネット動画)

安全のため、普通に走行中にはテレビやビデオ映像が表示されません。

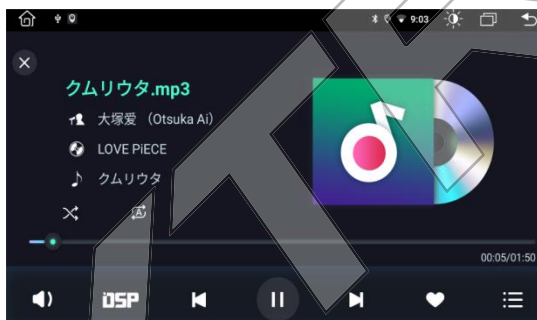
走行中に SD 動画/ネットの映像などを映るように、まず下記のように設置してください。

手順：設定→カーインフォテイメント→ビデオオプション→【**運転中ビデオを見るのが禁止されます**】を「オフ」に選定

設定完了後、走行中に映像の再生が対応可能です。

USB / SD

USB メモリー/SD カードを挿入して、保存された音楽ファイル、画像ファイルや映像ファイルを再生または表示できます。



♪USB/SD の最大容量は、64GB までです。

♪音楽ファイル形式：MP3 /WAV / WMA / AAC

♪動画形式：MP4/MOV/MPEG/AVI/WMV/DIVX/ RMVB/RV

ご注意：

② USB2.0 対応可能で、USB3.0 対応保証がしかねます。

② USB/SD の音楽や動画を再生できるように、

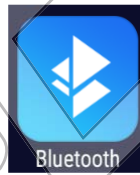
USB/SD のファイルシステム **FAT/FAT32** に設定してください。

③ 上記の動画形式でも、動画コーデックによって、対応できない場合もありますが、ご了承下さい

AUX 入力

RCA ケーブルで外部機器と接続する場合、画面の「AV 入力」を押すと、外部入力モードに入り、外部入力映像/音声が視聴できます。

ブルートゥース



本機とスマートフォンを Bluetooth 接続すると、ハンズフリー通話機能が使用できます。

※ Bluetooth 対応端末でも、機種によっては本機と接続に制限が発生する場合があります。

ご注意：

安全運転のため、運転中の通話はできるだけ避けてください。

※Bluetooth 対応のスマートフォンを御用意下さい。

機種によっては本機との接続に制限が発生する場合がありますので、ご注意下さい。

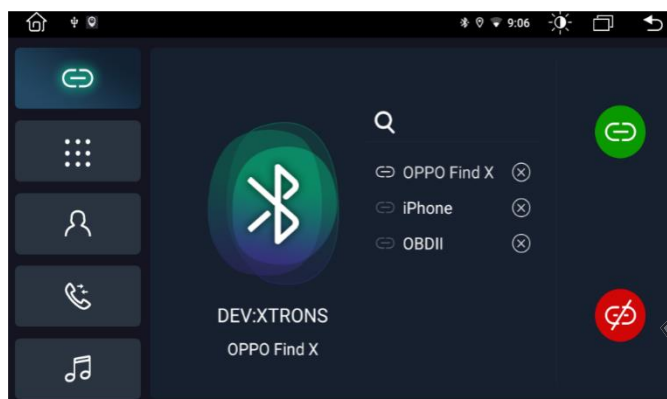
接続 (Bluetooth ペアリング)




スマホからペアリングの場合：

- a. Bluetooth 対応デバイスを本機の 1m以内に置きます。
- b. デバイスの Bluetooth 機能を ON にします。
- c. スマホの使用可能なデバイスリストから本機のデバイス名「XTRONS」をタ

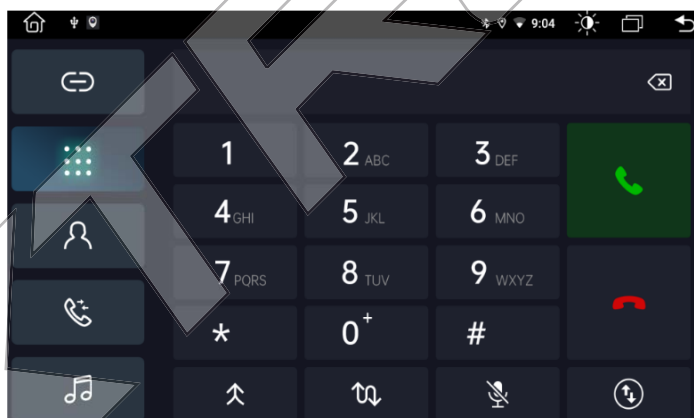
ップします。

1、 ペアリング



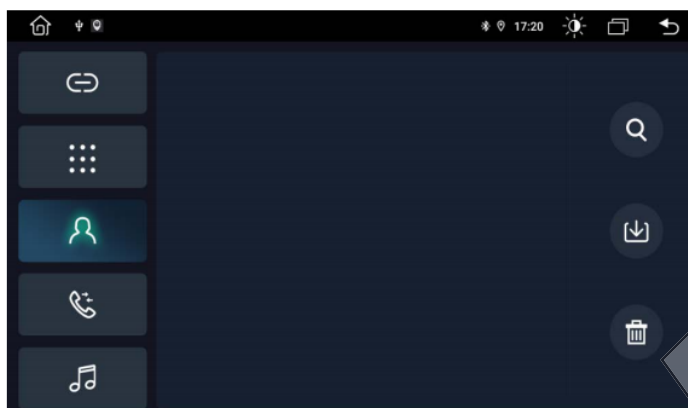
本機からスマホ信号とペアリングの場合：画面右上に検索アイコン  をタッチして、[利用可能なデバイス]リストでデバイスを選定し、 をタップしてペアリングを行います。 をタップして接続解除をします。

2、 通話 (ダイヤル)



電話番号を入力して電話をかけます。電話帳から連絡先を選択して電話をかけることもできます。

3. 電話帳



右側の上から2番目のダウンロードアイコンをタップして、Bluetooth デバイスの連絡先を同期します。

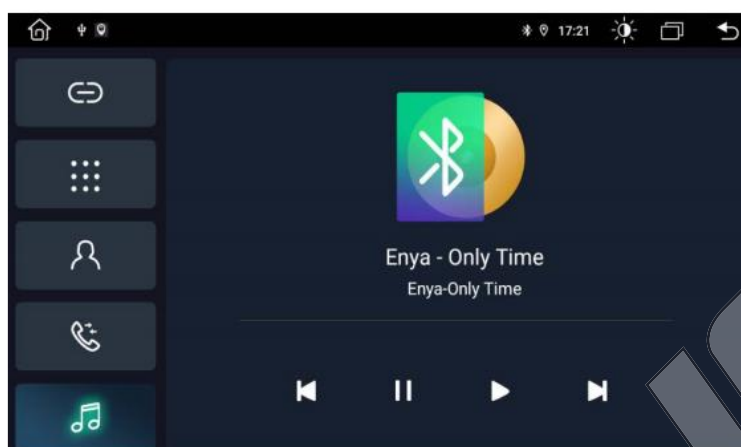
※スマホで「連絡の共有」を有効にしてください。

4 最近の通話履歴



最近の通話履歴には着信、不在着信、発信の履歴が表示されます。

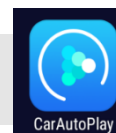
5 ブルートゥース音楽



Bluetooth 接続が確立したら、Bluetooth 画面で「BT 音楽」アイコンをタップすると、Bluetooth 対応デバイスに保存されている音楽を本機で再生できます。Bluetooth 対応デバイスから音楽再生を操作してから、本機のブルートゥース音楽画面で操作ができます。

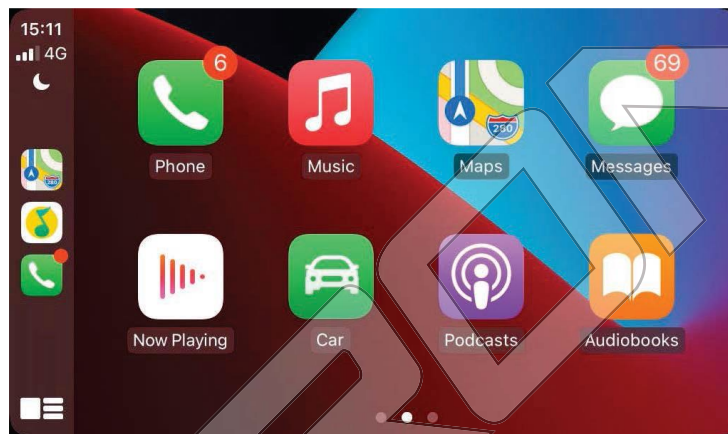
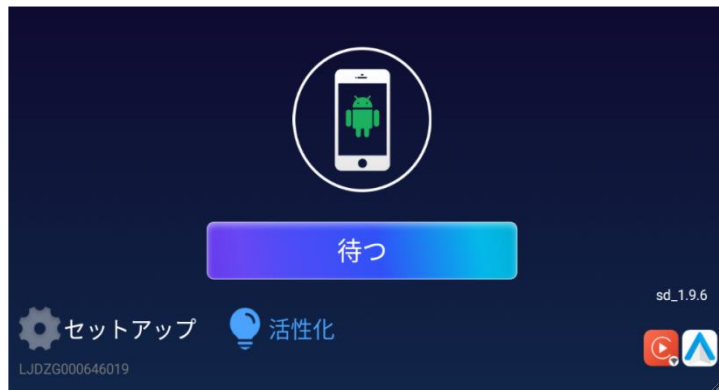
ご注意：スマホの機種によっては、本機との接続に制限が発生する場合があります。

Carplay（無線/有線接続対応可）




Carplay 連携専用アプリ Carautoplay は、出荷時設定は有効になっています。もしホーム画面に Carautoplay アプリが出ない場合、下記のように設定ください。

【設定】→【カーインフォティメント】→【端末情報】→右側の設定マークを押して→パスワード：8878 を入力→「Others」を選び→「AUTOLink」項目を「Enable」に✓を入れてから、画面右上側の「Save」をタッチして、「Reboot」をタッチしてください。商品は自動的に再起動します。再起動後、[Carautoplay] アプリがホーム画面に出ます。

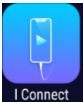


iPhone の無線接続の手順：

- ① iPhone 側のモバイルデータ通信を使う。(4G 回線のみ対応可)
- ② iPhone とカーナビの Bluetooth 機能とペアリングする。
- ③ ホーム画面の  Carautoplay アプリを開けて、 iPhone 側に CarPlay 利用の許可の表示が出て、OK にすれば、iPhone 画面がナビに表示されます。(動画アプリが対応できません)
- ④ ご注意：Carplay 機能を使うには、iPhone iso12.0 以降が必要です。

iPhone の有線接続：

①有線接続時、 iPhone の純正 USB ケーブルをナビ後ろ側の 4pin の赤い USB 端子に接続してください。

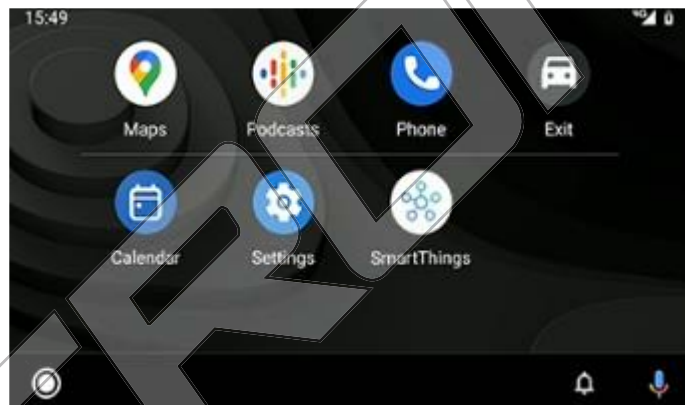
- ②次に、ホーム画面の【Iconnect】  アプリ を開けて、

iPhone 側に CarPlay 利用の許可の表示が出て、OK にすれば、iPhone 画面がナビに表示されます。(動画アプリが対応できません)


Carplay の接続ご注意：

- a) iPhone 付属の Apple 社の純正 USB ケーブルのご利用が必要です。
他の充電 USB ケーブルを使うと、CARPLAY 機能が接続できない可能性があります。
- b) 商品が一度初期化後、Carplay 機能が使える前に、ナビを一度ネットに繋がる必要があります。ネットに接続完了後、Carautoplay アプリを開けて、右下の Carplay などのアイコンが鮮やかに表示されると、Carplay 機能が再度利用可能です。

Androia auto (有線/無線接続が対応)



①Android Auto の有線接続：

1. android スマホの Google Play ストアから「Android Auto」アプリをダウンロードします。
2. android スマホの USB ケーブルで、ナビの任意 1 個の **USB** 端子に接続します。もう一方の端子をスマートフォンに接続します。
3. ホーム画面の  「Carautoplay」アプリをタッチして、スマホの画面がナビに表示されます。(動画アプリが対応できません)。

②Android Autoの無線接続：

1. androidスマホのGoogle Playストアから「**Android Auto**」アプリをダウンロードします。
2. スマホ側のモバイルデータ通信を使う。(4G回線のみ対応可)
3. スマホとカーナビのBluetooth機能とペアリングする。
4. ホーム画面の  「Carautoplay」を開けて、スマホ側に**Android Auto**利用の許可の表示が出て、OKにすれば、スマホの画面がナビに表示されます。
(動画アプリが対応できません)

ミラーリング



本機にはミラーリング機能と iPhone Carplay/Android Auto 機能も内蔵されています。

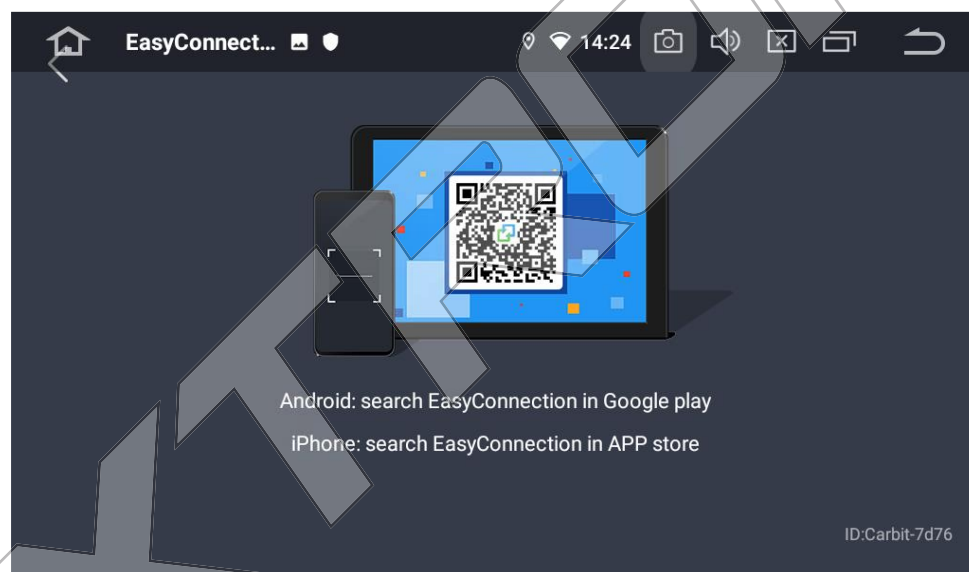
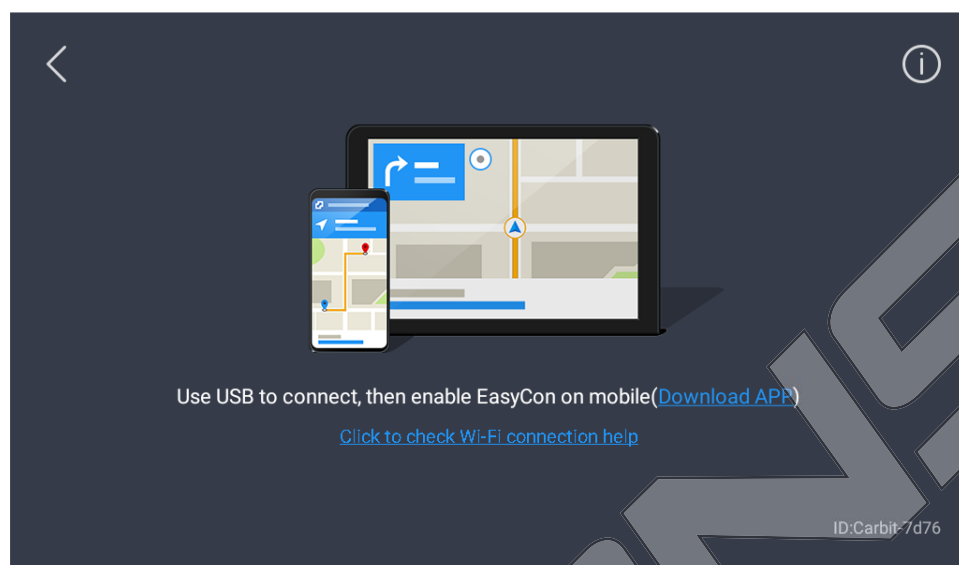
但し、上記の二つの機能は、同時で使うことができません。ご了承願います。

ミラーリング機能の設定方法：

①【設定】→【カーインフォテイメント】→【端末情報】→右側の設定マークを押して→パスワード：8878を入力→「Others」を選び→「**AUTOLink**」項目を「**Disable**」に✓を入れてから、画面右上側の「Save」をタッチして、「Reboot」をタッチしてください。商品は自動的に再起動します。
再起動後、[carbitlink] アプリがホーム画面に出て、ミラーリングが利用可能となります。

②[carbitlink]アプリが起動するには、ナビ本体がネットに繋がる必要があります。(wifi接続必要)

- ③ 上記の①と②の手順で設定完了後、android スマホと iPhone は、下記のように操作すれば、ミラーリングが対応可能です。



Android スマホをご利用の場合

1、USB 接続

- a. スマホ側の設定→システム→端末情報→ビルド番号を7回連続してタップして、「これでデベロッパーになりました!」と表示され、開発者向けオプションが使えるようになります。
- b. スマホ側の設定→システム→開発者向けオプションをタップして、USB デ

バックを許可してください。

本機のメニュー画面で **CarbitLink** アプリをタップして、DownloadAPP をタップしてください。QR コードをスキャンして、スマホで **CarbitLink** アプリをダウンロードしてください。

- c. 本機とスマホを USB ケーブルで接続します。スマホ側の設定で USB 接続タイプを「ファイル転送」にする必要があります。
- d. **CarbitLink** を起動し、ミラーリングができます。

1、WIFI 接続

- a. Android 側のホットスポットを ON にしてください。
設定→無線とネットワーク→デザリングとポータブルアクセスをオンにします。
- b. 本機の設定→ネットワークとインターネット→WIFI→アクセスポイント名を選定し、パスワードを入力して接続します。

本機のメニュー画面で **CarbitLink** アプリをタップし、DownloadAPP をタップしてください。QR コードをスキャンして、スマホで **CarbitLink** アプリをダウンロードしてください。

- d. **CarbitLink** を起動し、ミラーリングができます。
ご注意：車でスマホの音声を流せるため、Bluetooth の接続が必要です。

iPhone をご利用の場合、

- a. iPhone 側のネット共有を ON にしてください。
設定→モバイル通信→インターネット共有をオンにします。
- b. 本機の設定の WiFi リストから iPhone のホットスポットを選択し、パスワードを入力して接続します。(パスワードは、スマホ側でご確認ください)
- c. 接続成功の場合、iPhone 側 AirPlay(画面ミラーリング)を ON にすれば、ミラーリングできます。

ご注意：

1、ミラーリングを有効になる場合、CarPlay/Android auto 機能が一時的に無効になります。メニュー画面から **Carautoplay** アプリが消えて、ミラーリング用 **Carbitlink** アプリに変わります。

2、ミラーリングをご利用時、普通に動画アプリ（例えば、Youtube）が対応できます。但し、ネットの動画アプリとの相性によって、対応できない動画アプリもあります。ご了承をお願いします。

ナビゲーション

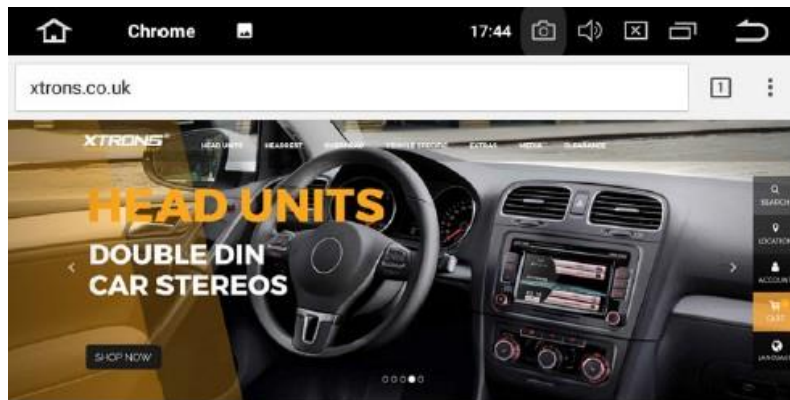
4G/Wifi を利用して Google map などのネット地図アプリがインストールできます。

* **ご注意**：ゼンリンオフライン地図カードが別売りです。購入希望の場合、メールにてご連絡をお願いします。

インターネット接続

モバイルネットワーク（3G/4G）または Wi-Fi（利用可能な場合）で本機をインターネットに接続できます。ウェブサイトを閲覧したり、Google Play ストアからアプリをダウンロードしたり、オンラインゲームを遊んだりできるようになります。車の中でインターネットを使えば、可能性は無限です。

* 3G ドングルと 4G ドングルは別売りです



ANDROID CAR STEREO'S, CAR DVD PLAYERS, HEAD UNITS

OBD2 (オ
プション

品)

本機は、自動車の自己診断機能（OBD2）をサポートしています。OBD 診断アプリ「トルク（Torque）」で車のリアルタイムデータや故障コードを読み取ることができます。OBD2 アダプターを対応ポートにさして、電圧、油温、水温、エンジン負荷などのデータをアプリ「トルク（Torque）」に表示できます。

* OBD2 アダプターは別売りです。



DVR (オプション品)

DVR (別売り) の設置により、走行中のあらゆるイベントをキャッチでき、衝突記録なども保存できます。

* DVR は別売りです。

TPMS (オプション品)

タイヤ空気圧監視システム (TPMS) を正しく取り付けした後、センサーはタイヤの空気圧と温度を自動的に監視し、リアルタイムの統計情報を受信器に送信して、車両のリアルタイムデータを本機のディスプレイに表示できます。継続的にタイヤの空気圧と温度を測定することで、運転中の安全性を高めることができます。

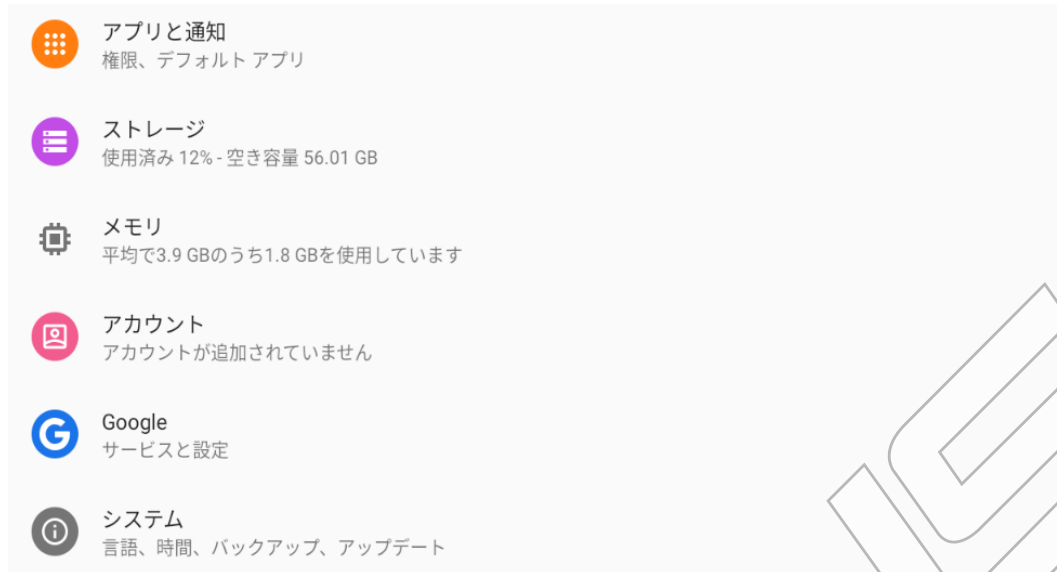
* TPMS は別売りです。

設定 (settings)

まず、ホーム画面の言語を日本語に設定してください。

設定方法: `settings-system-languages&input-languages-Add Language` を日本語に選定、日本語を1番目の順に設定後、言語が日本語になります。





1、ネットワークとインターネット

1.1 Wi-Fi

Wi-Fi をオンまたはオフにします。

ネットワークの選択：

接続したい端末（アクセスポイント）をタップします。セキュリティーが設定されている場合、パスワードを入力して接続を行います。

1.2 データ使用量

1.3 アクセスポイントとテザリング

2 カーインフォテイメント



2.1 一般

2.1.1 スリープモードの ON/OFF の設定ができます。

2.1.2 タップ補助

2.1.3 リバースボリューム抑制

バック時、メディア音声の強弱が調整できます。バック時、メディア音声の大きさが正常に出すには、中/強に選定してください。

2.1.4 すべての設定をリセット

2.2 表示

2.2.1 昼間のバックライト設定

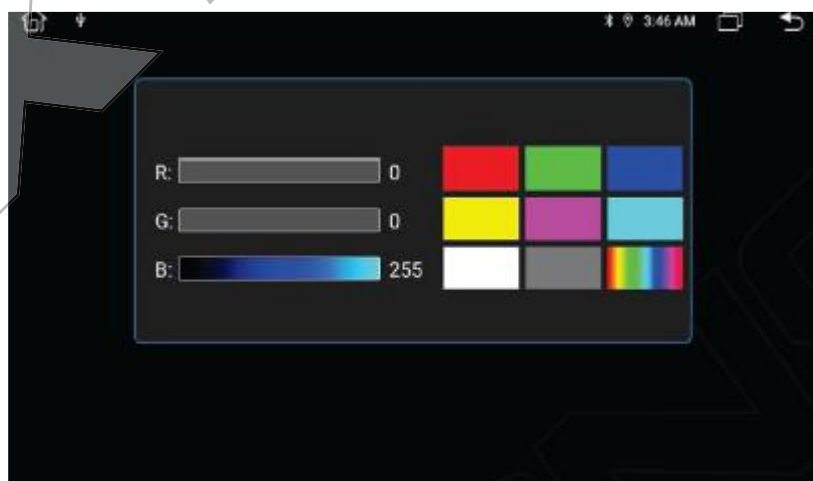
2.2.2 夜間のバックライト設定

2.2.3 自動調整

2.2.4 キーライトカラー

モニターのキーのイルミネーション色をお好みに合わせて変更することができます。

キーを点灯させる手順：ボタン色を選定後、ナビの後ろ側のイルミネーション配線を車側のヘッドライトのプラス極に繋ぎ、夜、ヘッドライトをつけると、キーが点灯します。

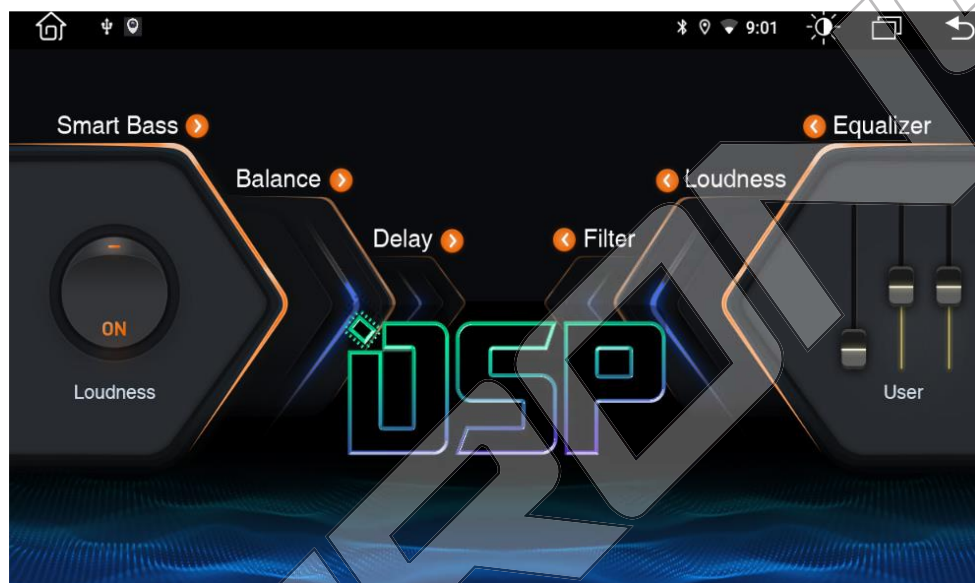


2.3、音量

「メディア音量」「ナビ音量」「BT 音量」「着信音量」「システム音量」などの調整ができます。

2.4 音声オプション

DSP 音声の効果の調整ができます。



2.4.1 スマートなベース：低音効果をさらに強化

2.4.2 バランス：車の前後左右スピーカーのバランスが設定できます。

2.4.3 Delay：さまざまなスピーカーからの音が届くように、音の遅延時間を調整します

2.4.4 フィルタ

2.4.5 ラウドネス：お好みの音質の周波数を設定できます。

2.4.6 EQ：イコライザーで、音声を 32 Hz～20 kHz まで調整可、30 バンドと 5 プレゼンスされた EQ を選択でき、最適な音響を徹底追求

2.5 ビデオオプション



2.5.1 【運転中のビデオ鑑賞は、禁止されています】の ON/OFF が設定できます。

オン：走行中にはテレビやビデオ映像が表示されません。

オフ：走行中でもネット動画やテレビやビデオ映像が表示されます。

2.5.2 リア補助線

2.5.3 リア警告線

2.5.4 鏡像機能

バックカメラの鏡像機能の ON/OFF の設定ができます。

2.5.5 エアコンディショナー（無効）

2.5.6 カメラタイプ

2.6 ナビゲーション

2.6.1 ナビパス（ファイルパス）を選択

2.6.2 ナビゲーションミックス：0-100 の範囲で調整できます。

2.7 Bluetooth

自動接続/自動応答の設定ができます。

2.8 ステアリングコントロール

ハンドル上のボタンはステアリングモードでのアイコンをペアリングして、ハンドルでコントロールできます。

まず、ステアリングの配線をご確認ください。

①車両側から2本のステアリングスイッチ配線の場合、

1 本のアース配線を商品のステアリングコントロールアースコードに繋いで

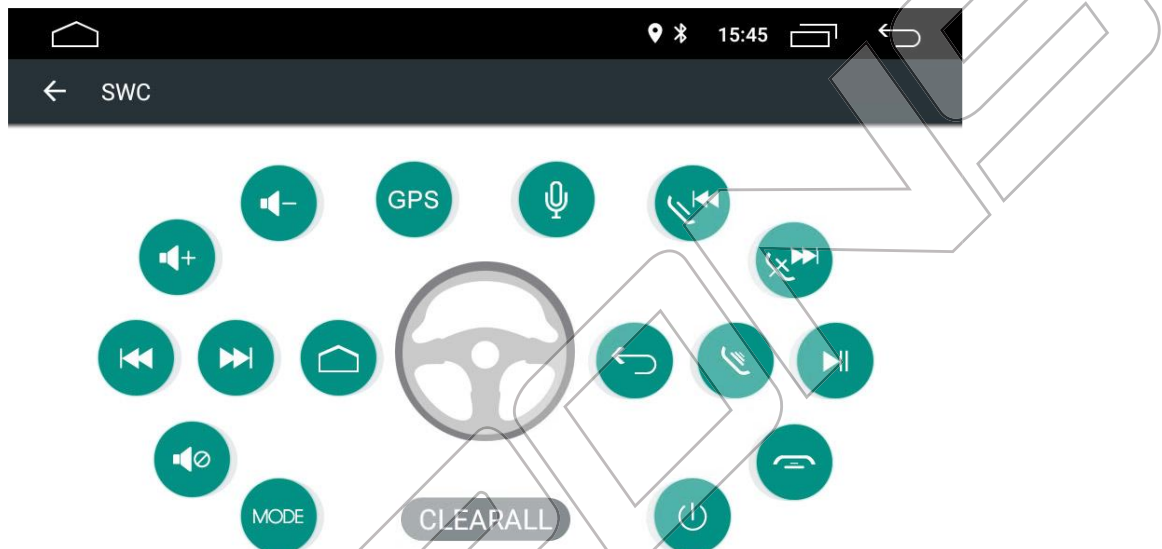
下さい。

もう 1 本のステアリング配線を商品の KEY1 に繋いで下さい。

②また、車両側から 3 本のステアリングスイッチ配線の場合、

1 本のアース配線をステアリングコントロールアースコードに繋いで下さい。

他の 2 本のステアリング配線を商品の KEY1、KEY2 に繋いで下さい。



配線のことを確認した後、ホーム画面の設定アイコンを押して、「カーインフォテイメント」を押して、ステアリングコントロールを押してから、設置モードに入り、全てクリアを押して、下記のようにボタンを設定してご確認ください。

- ① ナビ画面の機能ボタン(例えば音量+)を押してから、画面中の音量+ボタンがブルーに点滅して、この時、車側の適応のステアリングのボタンを押すと、画面のボタン色が点滅せず、ブルーになります。これはボタン設置完了です。
- ②他のボタンは①のように設置すればよろしいです。

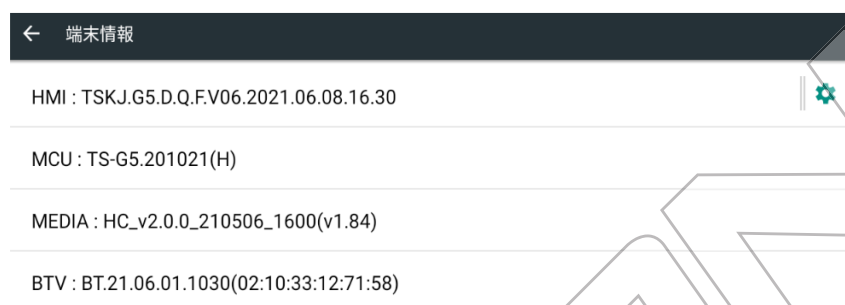
添付動画をご参照ください。

<https://youtu.be/9T1IoPfMk6k>

また、車種によって、ステアリングコントロール機能が対応できない場合もあります。ご了承下さい。

2.9 端末情報

商品のバージョン情報（MCU）が記載されています。



右上側の設定アイコンをタッチして、パスワード: 8878 を入力して、工場モードに入ります。

ご注意：工場設定モードの各項目は任意に変更しないでください。任意に変更すると、一部の機能が使用不可になる恐れがありますので、ご了承ください。

3、アプリと通知

最近開いたアプリが確認できます。

また、インストールされたアプリを管理します。

4、ストレージ

内部ストレージの使用状況と空き容量が表示されます。

「空き容量を増やす」をタップして、不要なアイテムが削除できます。

5、メモリ

内部メモリの使用状況と空き容量が表示されます。

6、アカウント

7、Google サービスと設定

Google アカウントのログインなどができます。

8、システム

8.1 言語と入力

8.1.1 言語

本機の表示言語を設定します。

日本語、英語、中国語などを追加して、設定できます。

設定方法：Settings-system-languages&input-languages-Add Language を日本語に選定、日本語を1番目の順に設定後、言語が日本語になります。

8.1.2 仮想キーボード

デフォルトキーボードは Android キーボードです。インストールされているキーボードを管理できます。

日本語専用のキーボードが内蔵されていませんため、日本語の入力をご要望の場合、Play ストアから【Google 日本語入力】アプリをダウンロードしてご利用おすすめてです。

8.1.3 物理キーボード

外付けキーボードを設置します。

8.2 日付と時刻

8.2.1 日付と時刻の自動設定：下記の選択肢があります。

- ネットワークから提供された時刻を使用する
- GPS から提供された時刻を使用する
- OFF

ご注意：上記の【OFF】にして、下記【日付設定】 / 【時刻設定】が手動調整できます。OFF 以外に選ぶと、手動調整できません。

8.2.2 タイムゾーンの自動設定—ON/OFF の設定ができます。

(ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する)

8.2.3 日付設定

8.2.4 時刻設定

8.2.5 タイムゾーンの選択:

「タイムゾーンの選択」を「GMT+9:00 日本標準時」に選定して下さい。

ご注意：上記の 8.2.2 【タイムゾーンの自動設定】を OFF にしないと、タイムゾーンの手動調整ができません。

8.3 端末情報

商品の android モデル/android バージョン/ビルド番号情報などが記載されています。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、下記のご確認をお願いします。

電源が入らない

- ① エンジンがかかっていない。エンジンを ON にしてください。
- ② 接続ケーブルが正しく接続されていない。ケーブルの接続をご確認ください。
- ③ ヒューズが切れている。切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換します。
- ④ ご自分で操作できれば、全ての配線を取り外した後、まず、商品の 3 本の電源配線だけを仮設置してテスト下さい。
- ⑤ 他の配線は絶縁ままにします。
- ⑥ 赤コード：ACC（アクセサリ）に繋ぎ、
- ⑦ 黄色コード：バッテリー電源のプラス極に繋ぎ、
- ⑧ 黒コード：アースに繋がります；
- ⑨ 電源配線 3 本接続後、機体が正常に起動させるかどうかをご確認ください。

音が出ない

- ① 音量が小さくなっている。音量を調整してください。
- ② 4組のスピーカーの配線が正しく接続されていない。配線の接続をご確認ください。

SD/USB/TV/ネット動画の画面が音声が出て、映像がなし、画面に：「!WARNING PLEASE STOP WATCH VIDEO

PLAYER」表示が出る

走行中に映像が映るには、下記のように設定してください。

手順：設定→カーインフォテイメント→ビデオオプション→【**運転中ビデオを見るのが禁止されます**】を「オフ」に選定

設定完了後、走行中に映像の再生が対応可能です。

ラジオ受信感が悪い

- ① アンテナケーブルの接続不良があります。アンテナケーブルの接続をご確認ください。
- ② 周りに障害物があって、受信感が良くない。受信状態安定の場所でもう一度ご確認ください。
- ③ 放送局の電波が弱い。受信ブースター（増幅器）を設置することが必要となるかもしれません。
- ④ アンテナが破損しました。破損したアンテナを交換してください。

GPS 測位ができない

- ① 3つ以上のGPS衛星からの信号を受信できない場合、GPS測位できません。
- ② 走行状況によっては、GPS衛星からの信号が車両に届かない場合があります。この場合、GPS測位できません。
- ③ GPSアンテナの近くで携帯電話を使用すると、一時的にGPS受信ができなくなることがあります。

- ④ アンテナケーブルの接続不良があります。アンテナケーブルの接続をご確認ください。

連絡先

弊社商品は、出荷日から普通に1年の保証付き、商品のご利用に何かご不明な点がございましたら、下記弊社メールアドレスにご連絡後、対応いたします。

E-mail(メールアドレス): xtrons_jp@xtrons.com



www.xtrons.co.jp

XTRON